

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 27 年 9 月 17 日 (2015.9.17)

【公開番号】特開 2014-155324 (P2014-155324A)

【公開日】平成 26 年 8 月 25 日 (2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報 2014-045

【出願番号】特願 2013-23078 (P2013-23078)

【国際特許分類】

H 0 2 K 17/16 (2006.01)

H 0 2 K 7/14 (2006.01)

F 0 4 B 39/00 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 17/16 A

H 0 2 K 7/14 Z

F 0 4 B 39/00 1 0 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 30 日 (2015.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明に係る電動機は、ステータと、ステータの内側に設けられたロータと、を有し、ロータは、電磁鋼板が複数積層されて構成されたコアと、コアの一方の端面及び他方の端面にそれぞれ設けられた第 1 エンドリングと、一端部がコアの一方の端面に設けられた第 1 エンドリングに接続され、他端部がコアの他方の端面に設けられた第 1 エンドリングに接続され、コアに設けられた金属棒状部と、各第 1 エンドリングの端面のうちコアに設けられている端面とは反対側の端面にそれぞれ設けられた第 2 エンドリングと、を有し、第 1 エンドリングと第 2 エンドリングとは、それぞれの接触面が接合されて固定されているものである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ステータと、
前記ステータの内側に設けられたロータと、
を有し、
前記ロータは、
電磁鋼板が複数積層されて構成されたコアと、
前記コアの一方の端面及び他方の端面にそれぞれ設けられた第 1 エンドリングと、
一端部が前記コアの一方の端面に設けられた前記第 1 エンドリングに接続され、他端部
が前記コアの他方の端面に設けられた前記第 1 エンドリングに接続され、前記コアに設け
られた金属棒状部と、
各第 1 エンドリングの端面のうち前記コアに設けられている端面とは反対側の端面にそ

れぞれ設けられた第 2 エンドリングと、

を有し、

前記第 1 エンドリングと前記第 2 エンドリングとは、

それぞれの接触面が接合されて固定されている

ことを特徴とする電動機。

【請求項 2】

前記第 1 エンドリング及び前記第 2 エンドリングは、

前記第 1 エンドリングと前記第 2 エンドリングとが摩擦圧接で接合されて形成された接
触部分を有する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の電動機。

【請求項 3】

前記コア、前記第 1 エンドリング及び前記金属棒状部は、

アルミで一体的に構成されている

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の電動機。

【請求項 4】

前記第 2 エンドリングは、

アルミ、又は銅で構成されている

ことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の電動機。

【請求項 5】

前記コアには、

前記電磁鋼板の積層方向に伸びるように連通する貫通孔が形成され、

前記コアの上側の端面側の第 1 エンドリングは、

その内径側の部分が、前記貫通孔の形成位置よりも外側に位置し、

前記コアの上側の端面側の第 2 エンドリングは、

その内径側の部分の下面側が、前記貫通孔の上側開口部分に対向している

ことを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の電動機。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の電動機と、

一端側が前記電動機のロータに接続された駆動軸と、

前記駆動軸の他端側が接続され、冷媒を圧縮する圧縮要素と、

前記電動機、前記駆動軸及び前記圧縮要素を収容する密閉容器と、

を有する

ことを特徴とする圧縮機。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の圧縮機を備えた

ことを特徴とする冷凍サイクル装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3】

